

2007年9月12日

VOL. 10

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

現地発！台湾月刊レポート④

鳥取県観光促進

鳥取県観光促進のためには何が必要か。長期戦略は、しっかりしていると思う。必要なのは、長期戦略上に存在する短期戦略、ブランド戦略。そしてインバウンドとアウトバウンドの融合だ。そして結局は、人の交流であろう。

「観光促進における真の国際化とは何か。鳥取は、私たちの十分の一の大きさしかない。人口も百万人に満たない。このような地方の小さな県でさえ、30人も国際要員が存在する。国際要員のうち一名は、台湾人だ。翻訳や外国人接待要員でもない、これらの国際要員は、たびたび小学校や地区に赴き、所属国家の言葉、文化、食べ物、風俗習慣などを教え、地元民と経験共有のための交流をしている。このような施策で、もし田舎の村人も国際的な感覚を身につけていたとしたら、訪れた外国人旅行者は、親身で親切にされ自分が尊重された感覚を持つだろう。これこそまさに国際観光化促進を根付かせる仕事だ。しかるに、こちらと来たら季節ごとに、大きな花火を打ち上げ、大きな音を響かせるための広告宣伝費をぶち込んでいる。しかしその効果は、花火のごとく短くあっという間に消え暗闇となる。こんなことばかりして、本当に真の国際化といえる文化と観光を根付かせることができるのか。飲んで食って、笑って楽しむだけで結局何も残っていないのではないか？」

鳥取県礼賛の文章。真の観光国際化の方法を正確に捉えている。皆様は、いったい誰が書いたのだろうかと思うだろう。なんと台湾人が台湾の観光施策を台湾にて強烈に批判した文書の一部なのだ。もちろん原文は、中国語。鳥取県の皆様には、自信と誇りを持っていただきたい。この論説を見つけ、私はとても嬉しくなった。

■産品輸出と外国人観光客誘致を一体化

さて、台湾では、台湾人に来てほしい

と思う都道府県が、次々と上陸、展開している。しかしそれは、図らずも台湾人が書いた台湾批評の文書とダブって見える。私は、各都道府県の広告宣伝を批判するつもりは、毛頭ない。積極的にすべきだとさえ思う。しかし長期戦略なき、短期花火戦略は、予算消化のためだけに動いているように見える。また一番残念なのは、アウトバウンドとインバウンドの共同アクションがないこと。産品輸出と外国人観光客誘致。それは、表裏一体だ。しかし活動を台湾で見ている限り、日本側の縦割で、横連携がうまく機能していない。

下記が代表的な旅行会社の鳥取観光ルートだろう。

- 1日目 鳥取砂丘＝白兔海岸＝梨狩り園＝三朝温泉（泊）
- 2日目 三朝温泉＝倉吉白壁土蔵・赤瓦散策＝境港（昼食マグロをご賞味）＝境港・水木しげるロード



鳥取砂丘は海外からの観光客をも魅了する観光資源
(出所：鳥取県文化観光局観光課)

鳥取の観光資源だけでがんばりたいことがわかる。しかしこれで良いのか。

■コナンを武器に観光PRができる

例えば若年層台湾人観光客を例に考える。若年層(40歳まで)は、情報収集をインターネットに頼る。「鳥取」で検索すると見えるもの。それは「漫画」だ。

<次ページへ続く>

目次

現地発！	P 1
台湾月刊レポート④	P 2
第3回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会出展の報告	P 2
韓国航路増便 境港～釜山 週3便化へ	P 3
2007年前半の客船 受入れを振り返って	P 3
JAPANフェアin広州 出展のお知らせ	P 4
編集後記	P 4

世界の祝日～10月～

- 中国 1～7日 建国記念日
- 香港 1日 国慶節
19日 重陽節
- 韓国 3日 建国記念日
- インドネシア 13～14日 断食明け大祭
- マレーシア 13～14日 断食明け大祭
- シンガポール 13日 断食明け大祭

出所：ジェトロ通商弘報
「世界の祝祭日2007年版」から

ちなみにコナン(中国語: 柯南)の検索結果は、18,065個。鬼太郎の検索結果は、744個。台湾では、圧倒的にコナンが知られている。「柯南迷」といわれる、コナンファンは、こんなことまでを言っている。「日本人は、頭がいいよ。お金儲けの方法を知っている。観光客を凄くひきつける。だってサンリオオキティランド、ドラえものの駅、そしてなんとコナン大橋までつくっちゃった。」この文章を見てわかるとおり、台湾人を鳥取にだけ納めておくことはできない。

(下記URL参照)

<http://tw.myblog.yahoo.com/siny0324/article?mid=1354&sc=1#1380>

台湾人は、「ハウステンボス→USJ→ディズニーランド」などという無謀な旅行も平気です。統一テーマで切り取る全日本地域連携も、考えるべき時代かもしれない。

【(株)スナーク 富田】

鳥取県台湾コーディネーター富田恭敏氏については、本誌第8号 http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/file01/20070717170807_7.pdf (2ページ)をご覧ください。

鳥取県産業振興機構海外支援部を窓口、県内企業の皆様からの簡単なお問合せに対応いたします。

また、商談斡旋依頼や実務的な情報提供などの具体的な案件についても、当財団取次ぎの上、個別に当該相談依頼者と契約できます。

【お問合せ】

海外支援部(担当: 早川、中江)

電話: 0857-52-6735

FAX: 0857-526782

貿易ワンポイント情報

「税関の事後調査」

税関による事後調査を受けて、税の追徴を受けた会社の例。

この会社は電気部品を輸入している。通常は海上輸送。しかし納期遅れが頻発した為、空輸による輸入を増やした。

それにも拘わらず課税価格は従来通り海上輸送のCIF価格を適用していた。更に、同社は輸入部品に使われるパーツを輸出相手に無償で供給していた。しかし、その費用を課税価格に含めて申告していなかった。

事後調査により航空運賃と海上運賃の差額及び無償で提供していたパーツに係る費用についての申告漏れが指摘され、過去3年に遡り、多額の不足税額を納めることとなった。

この会社は数年前から国外で部品の委託生産をしているが、輸入担当者の関税評価に関する知識が不足していたようだ。

関税評価について気になる方は、この機会に最寄の税関で再確認することをお勧めしたい。事後調査に関する情報は「財務省事後調査」をキーワードにgoogle等からパソコン検索も出来る。

第3回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会出展の報告

■県内企業5社の製品を出展

平成19年9月2日(日)～6日(木)、中国吉林省長春市で開催された「第3回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会」に(財)鳥取県産業振興機構ブースとして出展し、当財団職員がブースに立ち、県内企業5社の製品と鳥取県観光のピーアールを行った。

鳥取県と友好交流を進めている長春市で開催された当博覧会は、中国東北地方最大の総合的な国際博覧会である。今年は62ヶ国・地域が参加し、5日間で32万人の来場者があり、多くの人々が当財団ブースを訪れ、県内企業の優れた製品や県中部の民芸品を興味深く

手に取っていた。

<博覧会概要>

日時: 2007年9月2日～6日

会場: 中国吉林省長春市

長春国際会議展示センター
(面積3万3千㎡)



写真: 鳥取県企業の製品を手取る来場者

<当財団出展概要>

企業	展示品
サンライズ工業(株)	アンカーボルト
(株)モチガセ	バリエール抗ウイルスマスク
(有)AONケミカル	二十世紀梨酢
(株)エミネット	フィッシュコラーゲン
(有)澤井珈琲	コーヒー
(財)鳥取県産業振興機構	鳥取県中部の民芸品

境港からお知らせ

韓国航路増便 境港～釜山(プサン) 週3便化へ

■境港と釜山を結ぶ韓国航路が1便増便

増便となったのは、高麗海運㈱の“SUNNY SPRUCE号”(積載重量トン5,821トン、342TEU)である。今まで高麗海運㈱では、輸出・輸入ごとの曜日が決まっていたが、この増便によって、入港日に輸出・輸入が可能となり、境港利用企業にとって利便性の向上が見込まれる。また、釜山港は東アジアのハブ港でもあり、釜山港を通じて世界各地との接続が可能である。

■2002年以來の韓国航路週3便化

増便の背景としては、全国的な韓国航路の需要増により貨物が増えることが予想されることと、以前より日本総代理店のコスモスマリタイム㈱から船社である高麗海運㈱に対して、貨物スペース確保のため1便から2便に増やしてもらうよう要望していたものが実現された形となる。

る。今回の増便により、興亜海運㈱の1便と併せて、2002年以來の韓国航路週3便化が復活した。

初入港となった8月16日には、残暑厳しい中、境港昭和南国際コンテナターミナル内で関係者による記念セレモニーがとり行われ、松田専務理事の挨拶の後、船長に花束や“ゲゲゲの鬼太郎”の日本酒など、記念品が贈呈された。

境港貿易振興会としても、今後の境港の利便性向上のため、新たな貨物の獲得などポートセールスに努めたい。



【境港貿易振興会 立花】

2007年上半の客船受入れを振り返って

■2007年シーズンの境港への客船入港数

境港の2007年シーズンは、過去最高であった2006年の16回(外船13回、邦船3回)を超え、計18回(外船15回、邦船3回)の寄港が予定されている。その寄港の先陣を切ったのが、SPIRIT OF OCEANUSで3月から5月にかけて7回、CLIPPER ODYSSEYが5月に3回、前半戦はこれら計10回の受入れを実施した。

■外国クルーズ客船見送り隊

境港での係留岸壁は、改正SOLAS条約による制限区域内の岸壁である。周囲はフェンスで囲まれており、一般住民の方は当然に立ち入り禁止。そのため、出港時はいつも数名の関係者での見送りになってしまい寂しい限りであった。

何とか少しでも出港を盛り上げられればという事で、5月から、「外国クルーズ客船見送り隊」としてボランティア活動してくれる方々を一般住民から募集した。登録者には、客船入港日の一定時間(出港予定約2時間前から出港後まで)に限り、フェンス内へ入場可能な「立ち入り許可証」を事前に交付して、当日は、監視ゲートにて許可証と本人確認等、警備員のチェックを受けて入場してもらうことに。

■見送り隊が一番のお土産

最終的な人数はあまり多くは無かったが、1才から71才までの幅広い年齢層の見送り隊が結成できた。勿論、皆さん、お仕事があつたりして、いろいろとお忙しいので、客船出港時に必ずしも全員が揃うことはないが、それでも、今までとは異なった雰囲気の下で、出港を見送ることができたと思う。

一番感じたことは、港湾関係者と少し雰囲気の異なる人たちが岸壁から見送っていると、乗客の皆さんも自然とデッキに出てきてくれて、こちらに手を振って応えてくれること。

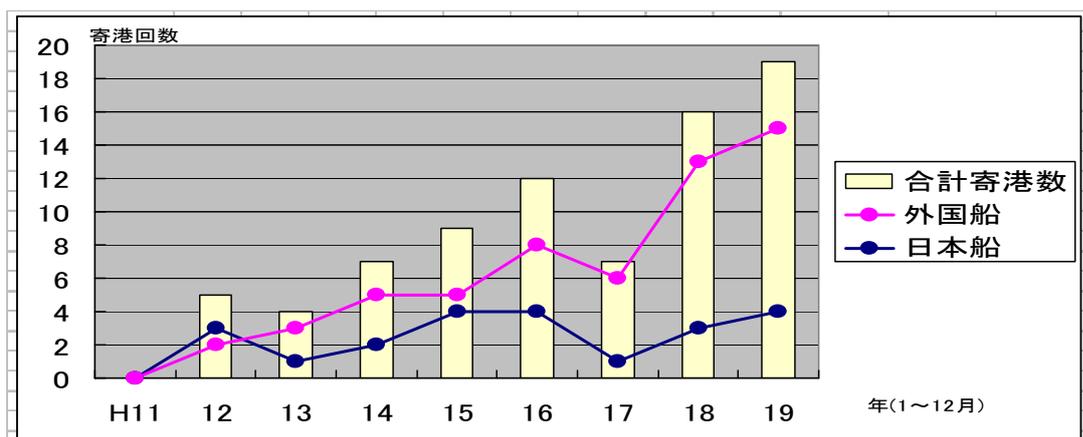
やはり、“その土地の人達との触れ合いが、一番のお土産なのだ”と再認識。特にその姿は、小さい子どもさんがいると顕著である。こんな事なら、もっと早くに試みてみたかった。



岸壁で手を振る「外国クルーズ客船見送り隊」

写真提供：境港管理組合

境港への 客船入港数の推移



JAPANフェアin広州出展のお知らせ

(財)鳥取県産業振興機構海外支援部では、9月15日(土)～18日(火)に中国広州市で開催される、第4回中国国際中小企業博覧会においてジェトロが運営する「JAPANフェアin広州」に「(財)鳥取県産業振興機構ブース」として出展します。鳥取県の優れた工業製品、加工食品等を海外のバイヤーに紹介し、県内企業の海外販路拡大を目指します。

■博覧会の概要

会期：2007年9月15～18日 4日間

会場：中国広東省広州市
広州国際会議展覧中心

主催：中国国家発展改革委員会、
商務部、広東省政府、
日本国経済産業省

前回実績：会場12万m²、来場者数21万人、
出品者数約4,000社

※この「Japanフェア in 広州」は「第4回中国国際中小企業博覧会」の中のジャパンパビリオンとして組織、運営される「フェア・イン・フェア」で、2006年「第3回中国国際中小企業博覧会」の実績は、展示面積12万m²、出品者数約4千社、来場者数21万人。

■本財団ブース出展概要

鳥取県産業振興機構がブースを借り上げ、県内企業及び産品を紹介。

※出展企業7社、使用ブース数6ブース

＜出展企業と商品＞

企業名 (順不同)	主な出展商品
サンライズ工業(株)	アンカーボルト
(株)田中製作所	金属プレス部品
(株)日本マイクロシステム	基板検査機
ニッパ(株)	ペットフィルムセパレーター
日本セラミック(株)	赤外線センサー
(有)澤井珈琲	氷温アイスコーヒー
千代むすび酒造(株)	日本酒

編集後記

先日、関西国際空港より北京へ行く際、搭乗機材遅れのため、予定より1時間遅れての出発となりました。更に、帰国の際にも、北京発が1時間遅れたのです。

なぜ、こんなに遅れるのだろうかと疑問に思っていたところ、次のような話を耳にしました。

中国では現在、大規模空港を中心に飽和状態が続いており、北京首都国際空港

では、1日の離発着数が1,100便の限界を超えているそうです。しかし、急増する航空需要に対し、整備やパイロットの人材は不足しており、安全にも影響が出るのが懸念されているそうです。

来年の北京オリンピックを控えた中国は猛スピードで発展を続けていますが、安全第一で無事オリンピックを迎えることができましたらいいなと思います。【那】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構海外支援部(担当：早川)

E-mail: kaigai@toriton.or.jp TEL: 0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

とっとり貿易支援センター
貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■(財)鳥取県産業振興機構海外支援部

TEL 0857-52-6738

■ジェトロ鳥取貿易情報センター

TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■(株)さかいみなと貿易センター

TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会

TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局

TEL 0859-42-3705

■ジェトロ貿易相談デスク

TEL 0859-45-2203

■鳥取県商工労働部産業開発課

TEL 0857-26-7245・7566